

地方公共団体との研究会について

○開催の趣旨

専門委員と地方公共団体の実務担当者との間での意見交換等を通じて、地方公共団体からのニーズを汲み上げ、市場化テスト導入にあたっての諸課題を整理・検討することにより、市場化テスト導入の取組みを支援することを目的に平成19年度に引き続き開催。

○テーマ及び運営方法

昨年度の研究会の成果と、現在、地方公共団体が持っている関心事項・問題意識等を踏まえ、平成20年度は「窓口業務」と「事例研究」の2本のテーマを設定。

- ・テーマに関心のある地方公共団体に出席していただき、原則公開で開催。
- ・会議資料、議事要旨については、HPで公開。
- ・第1回は7月4日に開催し、どちらのテーマも年度内に5回程度開催予定。
- ・「窓口業務」は石川専門委員、「事例研究」は稲澤専門委員に進行役を依頼。

1. 窓口業務にかかる実務的な課題について

窓口業務については、今年1月に24事項について整理したこともあり、市場化テスト導入について検討を始める地方公共団体が出てくるなど、市区町村での関心が高い。また、窓口業務について、市場化テストの具体的な事例が創出されれば、他の地方公共団体への波及効果もあると考えられる。したがって、窓口業務にかかる実務的な課題を研究会のテーマとして設定し、共通の課題を検討していく。

第1回 7月4日（金）13:30～16:00

- ・堺市保険年金窓口業務にかかる内閣府FS調査結果の紹介
- ・地方公共団体からの課題提起、意見交換

第2回 9月8日（月）午後

第3回 10月31日（金）午後

第4回 12月12日（金）午後

第5回 2月9日（月）午後

また、研究会とは別に、地方公共団体の現場視察を開催することを検討。

（専門委員が、地方公共団体の窓口業務の現場視察を行った後、地方公共団体との意見交換を実施。その結果については、研究会に報告。）

なお、法律の特例、環境整備にかかる検討については、地方公共団体のニーズ・市場化テストの取組み状況等を踏まえ、必要に応じて行う。

2. 市場化テストの事例研究について

地方公共団体で導入されている市場化テストの事例や市場化テストの導入を検討している地方公共団体の事例を素材として研究会を開催する。

そこで、昨年度の研究会を取りまとめた報告書において、地方公共団体が直面する実務的課題として取り上げた「対象事業の選定」、「質の設定と評価」、「官のコスト」、「モニタリング」等をテーマとして、事例研究を行う。

- ・ 毎回、主担当、副担当（別表）を決め、事前の準備として、担当専門委員から提示された論点と事例の候補をもとに、プレゼンテーションを依頼する地方公共団体を事務局で選定し、テーマを設定。必要に応じ、選定した地方公共団体と専門委員との意見交換を実施。
- ・ 研究会当日は、問題意識を共有するため、テーマに関する基本的な考え方を担当専門委員からプレゼンテーションした後、地方公共団体からの事例紹介、議論（質疑応答、専門委員のコメント等）を進める。
- ・ 当日の議論は、担当専門委員が中心となって取りまとめた上で、後日公表する。

第1回 7月4日（金）13:30～16:00

市場化テスト導入にあたっての対象事業の選定について

主担当 稲澤専門委員、副担当 佐藤専門委員

第2回 8月25日（月）午後

官のコストの算出方法とコストの官民比較方法について（仮題）

主担当 岸専門委員、副担当 菊地専門委員

第3回 10月3日（金）午後

質の設定と評価について（仮題）

主担当 佐藤専門委員、副担当 福嶋専門委員

第4回 11月28日（金）午後

住民参加と第三者機関について（仮題）

主担当 福嶋専門委員、副担当 稲澤専門委員

第5回 2月19日（木）午後

予備（積み残したテーマ、新たに出てきたテーマに対応）

主担当 稲澤専門委員、副担当 和田専門委員